

福祉みえ



福祉みえでは、表紙に掲載する写真を募集しています。今月号は、東員町社会福祉協議会さんから「かぞくの防災講座」の写真を提供いただきました。応募については、本会ホームページをご覧ください。

contents

- 特集：令和4年度三重県社会福祉大会……………2
- 連載：そうだ！先輩に聞こう……………6
- information……………7
- 三重県共同募金会からのお知らせ……………8

福祉みえでは特集記事に uni-voice による音声コードを導入しておりますが、今月号におきましては収録字数の関係上、音声コードの導入を見送らせていただいております。

2022年12月号
No.378

ふれあいネットワーク

特集

令和4年度 三重県社会福祉大会

去る令和4年11月1日(火)、三重県総合文化センターにて三重県社会福祉に貢献された方々の顕彰と社会福祉の更なる発展を期して、三重県社会福祉大会(第70回)を開催いたしましたので、そのときの内容をお届けします。

三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝

民生委員・児童委員功労者

民生委員・児童委員の現職において、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
桑名市	浅井 真知子	四日市市	大鷹 榮子	四日市市	松田 文雄	志摩市	佐藤 一夫
桑名市	池田 寛子	四日市市	加藤 勝良	四日市市	水谷 壽男	志摩市	柴原 彌生
桑名市	伊藤 清文	四日市市	小林 伸也	四日市市	諸岡 逸子	志摩市	竹内 正博
桑名市	大東 満希子	四日市市	清水 のり子	四日市市	山本 たか子	志摩市	谷水 清久
桑名市	中川 由紀子	四日市市	関 洋子	鈴鹿市	伊藤 君子	志摩市	溝口 幸夫
桑名市	日比野 一子	四日市市	仙石 千衣子	鈴鹿市	坂 洋子	伊賀市	神戸 安男
桑名市	眞野 幸昭	四日市市	舘 初美	鈴鹿市	名村 吉子	名張市	金井 弘明
桑名市	水越 啓子	四日市市	伊達 眞理子	亀山市	伊藤 峰子	名張市	狩野 義津
桑名市	水谷 早苗	四日市市	田中 しず子	亀山市	櫻井 平治	名張市	森 志津
桑名市	三輪 孝雄	四日市市	田中 秀和	松阪市	小阪 百合子	紀北町	奥村 智代
木曾岬町	水谷 正	四日市市	田邊 淳子	松阪市	高橋 道典	紀北町	小家 温代
東員町	中山 章司	四日市市	中川 博子	松阪市	吉村 喜子	紀北町	鈴木 紀男
東員町	水谷 愛子	四日市市	生川 郁子	明和町	松平 泰子	紀北町	濱田 やを
四日市市	飯村 壽子	四日市市	野呂 義勝	明和町	森 田 豊	熊野市	橋屋 愛子
四日市市	石崎 久美子	四日市市	林 京子	伊勢市	荻田 美知子	御浜町	榎本 葉子
四日市市	伊藤 としへ	四日市市	林 正次	伊勢市	中川 きよ	御浜町	尾崎 貞義
四日市市	伊藤 恵子	四日市市	前嶋 文子	伊勢市	平賀 竹子	御浜町	木下 壽子

社会福祉法人・福祉施設功労者

社会福祉施設の現職において、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
四日市市	岡本 創	特別養護老人ホーム英水苑	伊賀市	西崎 公代	中瀬城東保育園
四日市市	福岡 利樹	たのしい保育園	伊賀市	西村 充代	睦保育園
四日市市	三木 康晴	社会福祉法人徳寿会	名張市	今西 真由美	レインボークラブ
四日市市	安田 安子	コミュニティケアホーム三重	名張市	奥谷 理恵	ひびき
鈴鹿市	佐野 美里	しらすぎ園	名張市	清水 冬樹	ホームヘルプサービス ゆーゆ
鈴鹿市	山岸 泉	しらすぎ園	名張市	角谷 栄美	くらしサポートゆっくる
津市	小田 将之	津長谷山学園	名張市	多原 智子	レインボークラブ
津市	小柴 眞治	介護老人保健施設トマト	名張市	細川 節子	ホームヘルプサービス ゆーゆ
津市	白山 良展	長谷山寮	名張市	丸仲 敏郎	ききょうの家
津市	谷 眞喜子	津長谷山学園	名張市	水野 郁子	ききょうの家
津市	横山 裕子	特別養護老人ホーム報徳園	名張市	三宅 学	特別養護老人ホーム グランツァ
津市	若畑 桂子	特別養護老人ホーム報徳園	名張市	山下 耕平	ききょうの家
松阪市	坂元 敦子	わかすぎ第二保育園	尾鷲市	上村 美智代	特別養護老人ホームスバル台
伊勢市	竹田 志津子	天理教三重互助園	尾鷲市	多湖 麻衣子	ひのきっここども園
伊勢市	御手洗 旭	天理教三重互助園	尾鷲市	谷口 育子	尾鷲乳児保育園
志摩市	木山 まり子	志摩特別養護老人ホームともやま苑	尾鷲市	道上 貴子	尾鷲乳児保育園
志摩市	柴本 成予	志摩特別養護老人ホーム才庭寮	尾鷲市	山口 晶子	ひのきっここども園
志摩市	山路 千尋	志摩特別養護老人ホームともやま苑			

(注) 社会福祉法人・福祉施設功労者 39名のうち、氏名の掲載についてご同意いただいた方のみ掲載しています。

社会福祉協議会・民間団体功労者

社会福祉団体の現職において、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
四日市市	高井 弘江	四日市市社会福祉協議会	伊勢市	小山 久和	伊勢市社会福祉協議会
四日市市	安田 美佳	四日市市社会福祉協議会	伊勢市	村上 喜代子	伊勢市聴覚障害者福祉協会
鈴鹿市	田中 浩樹	鈴鹿市社会福祉協議会	伊勢市	吉村 由佳	伊勢市社会福祉協議会
鈴鹿市	中西 淳一	鈴鹿市社会福祉協議会	鳥羽市	岡本 浩美	鳥羽市社会福祉協議会
津市	浅生 美幸	津市母子父子寡婦福祉会安濃支部	伊賀市	乾 光哉	伊賀市社会福祉協議会
津市	市川 敦子	誠之地区社会福祉協議会	名張市	菊住 典子	名張市身体障害者互助会
津市	片岡 則久	芸濃地区社会福祉協議会	名張市	服部 由美	名張市社会福祉協議会 昭和保育園
津市	川本 雪子	津市母子父子寡婦福祉会安濃支部	名張市	福井 浩司	名張市社会福祉協議会
伊勢市	浅野 泰子	伊勢市社会福祉協議会	紀北町	植村 なぎさ	紀北町社会福祉協議会
伊勢市	川合 正良	伊勢市社会福祉協議会			

(注) 社会福祉協議会・民間団体功労者 22名のうち、氏名の掲載についてご同意いただいた方のみ掲載しています。

社会福祉協働者(感謝)

社会福祉活動に積極的に協力し、特に顕著な功績があった方

市町名	氏名	功績概要・活動内容
鳥羽市	手話サークルペンペン草	聴覚障がい者が、言葉に不自由することなく健常者とともに楽しくすごせる社会づくりに貢献することを目的に昭和50年から活動。学習会に加え、ろう者との交流会も行ってあり、聴覚障がい者との親睦も深めている。また、他団体との連携にも力を入れ活動している。
鳥羽市	鳥羽フォークダンス協会	平成4年の設立以来、市のイベントや、福祉イベントにも数多く協力している。ダンスを通じて障がい者、高齢者福祉施設訪問、フォークダンス指導による交流会などを行っている。
鳥羽市	鳥羽市民コーラスはまおぎ	平成3年に設立し、障がい者福祉施設や、高齢者福祉施設に訪問して合唱のボランティア活動を行っているほか、地区の文化イベント等に積極的に参加している。

三重県共同募金会会長表彰・感謝

共同募金運動奉仕功労者 共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な奉仕者

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
四日市市	神谷 任 男	松阪市	堤 康 雄	鈴鹿市	原田 一 男
四日市市	古市 義 勝	松阪市	山本 勝之	名張市	辻本 俊志
四日市市	水谷 重 信	鈴鹿市	長野 成 博	菟野町	諸岡 清 隆

共同募金運動優良地区・団体 共同募金運動が特に優秀な地区及び団体

市町名	地区/団体名	市町名	地区/団体名
津市	一身田中野区自治会	鳥羽市	千賀町内会
津市	上野自治会	鳥羽市	鳥羽市立加茂小学校
津市	香良洲町浜浦区自治会	志摩市	上之郷区
津市	高茶屋地区小森山自治会	志摩市	甲賀自治会
津市	津市河芸地区民生委員児童委員協議会	志摩市	越賀自治会
津市	豊が丘第一自治会	志摩市	塩屋地区自治会
伊勢市	県営旭団地	志摩市	波切自治会
伊勢市	中村町月詠台自治会	明和町	前野自治会
伊勢市	前山町自治会	大台町	江馬区
伊勢市	矢持町自治会	大台町	上楠区
松阪市	松阪市民生委員児童委員協議会連合会	大台町	上三瀬区
名張市	赤目町星川区	大台町	久豆区
名張市	朝日町区	大台町	神滝区
名張市	桔梗が丘西6番町自治会	大台町	本郷区
名張市	葛尾区	南伊勢町	切原区
名張市	西田原区	南伊勢町	神津佐区
名張市	布生下出区	南伊勢町	礪浦区
名張市	吉原区	南伊勢町	東宮区
鳥羽市	畔嶋自治会	南伊勢町	奈屋浦区
鳥羽市	相差町内会	南伊勢町	道方区
鳥羽市	国崎町内会		

共同募金運動篤志寄付者・団体(感謝) 共同募金に多額の篤志寄付をされた個人及び団体

市町名	氏名/団体名	市町名	氏名/団体名
津市	臼井 幹生	名張市	株式会社ベルウイング
津市	おぼろタオル株式会社	名張市	株式会社ヤマタケ
四日市市	中垣 茂男	名張市	スガコー建設株式会社
四日市市	四日市学生吹奏楽連盟	名張市	名張市仏教会
四日市市	四日市市老人クラブ連合会	いなべ市	位田 吉郎
四日市市	四日市ロータリークラブ	伊賀市	栗原 政芳
松阪市	浦木 香秀	伊賀市	山川 公郎
松阪市	みえなか農業協同組合大足店	伊賀市	山川 喜美子
松阪市	焼肉の刻	伊賀市	伊賀ふるさと農業協同組合
鈴鹿市	前野 寿美	伊賀市	小川整備株式会社
名張市	坂本 幸嗣	伊賀市	ベジタブルラボ株式会社
名張市	城山 勝紀	御浜町	林 和男
名張市	森島 國久		

(注) 篤志寄付者139名(個人117名・法人等22団体)の内、感謝状受領及び氏名の掲載についてご同意いただいた個人・団体のみ掲載しています。

三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン表彰

赤い羽根共同募金、三重県をイメージした優れた作品をデザインされた方

	氏名	団体名
三重の赤い羽根賞	大野 恵美	菟野町
三重県知事賞	刀根 いろは	津市立朝陽中学校
三重県議会議長賞	井上 雪乃	暁高等学校
三重県教育委員会賞	西澤 千丈	三重県立伊賀白鳳高等学校
三重県社会福祉協議会長賞	太田 真央	津市立南が丘中学校

努力賞	氏名	市町名/団体名
	大橋 颯	桑名市立深谷小学校
	奥野 恵禾	鈴鹿市立天栄中学校
	大野 愛夏	暁高等学校
	北川 日愛	三重県立松阪商業高等学校
	溝口 由紀子	津市



シンポジウム

他分野との連携でつくるしなやかな地域

誰もが住み慣れた地域で、共に暮らし続けることができる「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりを進めていくためには、いわゆる（狭義の）福祉分野の枠を越えて、多様な分野との連携による取り組みが求められます。今回は農福連携、水福連携の事例から、持続可能な（しなやかな）地域づくりのためのヒントや、新たな視点・切り口による気づきを得ることを目的としたシンポジウムを開催しました。

イチゴの生産・流通でウェルビーイングな社会を

農福連携といわれる新たな形態で、農業によるウェルビーイング（幸せ）をテーマにしながら農園の運営を行う遊土屋株式会社の宮澤大樹さん。「世界にもっと幸せな瞬間を」をコンセプトに、高品質な国産イチゴを国内外に届ける事業をしています。イチゴの生産から販売まで、すべて自社で行う特殊なスタイル。朝摘みの「完熟クワフト母（クワフトマ）」を翌朝にはお客様の手に届くというスピードで、採れたての美味しさを提供しています。幸せに関する学術的な研究

理論を元にしたカリキュラムを導入する「ワンネス財団」を卒業した、生きづらさを抱えた人々を雇用。また週替わりでもそのような人々を迎え、自己肯定感を高めるワークなどを取り入れながらの就業活動もしています。

イチゴ農家に仲間5人で修業した創業時、体力に自信のあった宮澤さんが、ほかのメンバーに追いつきませんでした。フィールドが異なると仕事ができる・できないが変わってくる。強みを生かせる場と出会えさえすればやりがいを持つことができ、人は輝けると気づいたエピソードの一つです。

働く一人一人のモチベーションが上がっていく仕組みづくりが大事と考え、事業に取り入れている宮澤さん。どんなに機械化やAI化をされても、人づくりは変わりません。同社では「同じ釜の飯を食う」という古典的な方法を使い、腹を割って話し合える関係づくりに尽力。イチゴをツールに福祉と事業の両輪で、仲間達の幸せを一番に考えています。そのためにはビジネスの軸足の安定と、社員が誇れる挑戦をしていくこと。同社では新ブランドの立ち上げも果敢にトライし、未来の気候変動にも対応したイチゴの生産を研究・着手しています。

地場が誇る水産業の強み 福祉の分野で上手に生かす

志摩市社会福祉協議会で水福連携業務を担当する高橋宏幸さん。養殖・加工などを行う水産業と福祉で連携し、障がい者の就業機会の拡大や賃金アップなどを目的に、水産業の発展にもつながる取り組みを行っています。地元からの協力により、牡蠣の養殖場を確保。いかだを設置して育成・水揚げ・清掃・販売のほか、網・カゴの修理といった安定した仕事も確保できています。現在は4人の障がい者がローテーションで活躍。地場産業である漁業は地元からの協力が得られやすく、優れた技術をもつ漁業者も多くいます。作業に変化が少なく、障がい者でも仕事をこなせることが利点ですが、水産業の衰退傾向と従事者の高齢化などの課題もあります。

高橋さんはより多くの障がい者が就労できるよう環境整備をし、生活支援の拠点となるような地域づくりや問題解決に努めています。

人とつながる関係性に変化するしなやかなネットワークを

二人とも企業と福祉のコラボレーションが興味深い」と話す関西学院大学の牧里毎治名誉教授。宮澤さんの企業では共通思想の財団とタッグを組み、高橋さんが在籍する組織では、脈々と受け継いできた志摩市ならではの水産業と連携しています。

企業的な福祉連携は新しく、現代的です。経済的な困窮には、必ず孤独などの人間関係の問題が紐づきます。人生の設計が難しくなってきた人たちに働く機会を提供する。仕組みをつくり人を結びつけば、働く意欲やプライドも高まる。お二人の取り組みは、ウェルビーイングハッピーの状態をしなやかに作り上げています。

しなやかさは強さになります。だからもっと真剣に、関係性の貧困について考える必要があります。福祉関係の方には、お任せのネットワークでなく、やりたいことがマッチするつながり方を模索して、「助けて」と人に頼れる心の隙間をつくって欲しいと、牧里名誉教授はコメントを述べました。



イチゴの栽培から販売を通じて、農福連携を行う遊土屋株式会社（伊賀市）の宮澤大樹氏、水福連携を行う志摩市社会福祉協議会から高橋宏幸氏を迎え、それぞれの実践報告を壇上にて披露していただきました。コメントターにお迎えしたのは、関西学院大学 名誉教授の牧里毎治氏、ファシリテーターとしてNPO法人Mブリッジ代表理事の米山哲司氏に、司会進行をしていただきました。



大会宣言

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活は大きな変化を強いられました。人のかかわりや経済活動が制限され、社会的孤立、休業・失業による生活困窮が深刻化する一方で、「新しい生活様式」が提唱され、それぞれが感染対策を徹底したうえで、地域活動の再開や福祉サービスの提供、相談支援を工夫して行ってきました。

コロナ禍での生活も2年以上が経ち、ウィズコロナに向けた新たな段階についても議論されるようになってきましたが、近年頻発している台風や地震等の自然災害や、不安定な国際情勢など社会的不安は拭えません。

こうした厳しい状況の中で、人とのつながり、人と社会のつながりが改めて重要視されています。誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりに向けて、福祉関係者だけでなく、行政、企業、ボランティア等様々な主体が連携・協働して、地域を支え、つないでいくことが求められています。これまで関係機関と力を合わせて「福祉のまちづくり」に取り組んできた三重県社会福祉協議会は、1951（昭和26）年に設置、1953（昭和28）年に法人化され、70年という歳月を積み重ねてきました。

本日、ここに第70回三重県社会福祉大会の開催にあたり、私たち社会福祉関係者は、あらためて人びとの福祉ニーズや地域の生活課題に対して真摯に向き合い、地域共生社会の実現に向け、注力することを固く誓い、ここに宣言します。

令和4年11月1日 第70回三重県社会福祉大会

三重県社会福祉協議会会長表彰 民生委員・児童委員功労者

多様化・高度化する民生委員の仕事 地域活性化には欠かせない存在

民生委員を15年間務めさせていただきましたが、最近特に生活に困窮する方が増えたという実感があります。我々も食糧支援などを通じて、できる限りのサポートを行っていますが、痛感するのはやはり家族や近所という身近なつながりが弱くなっているということです。さらに、コロナ禍の影響が追い打ちを掛けていますね。世の中の状況が複雑になってくるに連れて、仕事の内容も多岐にわたり、問題も多様化しています。後に続く方は大変だとは思いますが、地域を良くするためにはなくてはならない存在です。民生委員を引き受けたいという人が増えてほしいと切に願っております。



東員町民生委員児童委員協議会
会長 **中山 章司** さん（東員町）

三重県共同募金会会長表彰 共同募金運動奉仕功労者

何に使われ、どう役立っているのか 募金の「見える化」を推進します

新型コロナウイルスの影響を受け、街頭活動が行いにくい状況の中、共同募金の在り方も変化しつつあります。それは「使い道を吟味して、明確にする」ということ。従来の活動は、どれだけ寄付を集めるかということに重点が置かれがちでした。どのような仕組みで、どう活用されているのか。いわゆる「見える化」を進めることは、自ら積極的に募金をしたいとの動機付けにもつながると考えています。募金額は頭打ちになっていますが、寄せられた浄財を必要とする人は減っていないのが現状です。これからの共同募金活動に、ぜひ理解と共感を寄せていただきたいと思います。



松阪市共同募金委員会
会長 **山本 勝之** さん（松阪市）

そうだ！ 先輩に 聞こう

連載 第5回

本連載は、悩める若手職員・新任職員様から業務上でのお悩みや困り事をお預かりし、そのお悩みに、県内の福祉施設で働く仲間である同業種の先輩からメッセージをいただき新任職員・若手職員を応援する連載です！

きっと、同じような悩みをもつ仲間もいるはず！先輩職員からのメッセージをヒントにあなたの業務に活かしてくださいね★

それぞれの利用者への配慮が必要な場面で 当たり障りない声掛けに終始してしまう

相談者

障害者支援施設 介護職員
経験年数 1年未満



利用者の中に大きい声でしか話せない方がいます。その方が話している時に、他の利用者の方が「うるさい」「だまれ」等と言います。

そのような言い方をやめてほしいのですが、「そんな言い方しないで」「自分のお部屋にいったらいいよ」等の声掛けしかできず、そのやり取りを繰り返してしまいます。

もし、私がそのような状況にいたら、きっとあなたと同じような声掛けを行っているかと思います。これは私見ですが、声掛けや促しについては不適切な声掛けや発言だということはあるかもしれませんが、決まった「正解」はないと思っています。ですので、それぞれの場面に応じた適切な声掛け、発言が行えるよう経験を重ねることが大切だと思います。

まだ経験年数が1年という状況で、日々の支援が大変に感じるかと思いますが、支援の中で想像力を働かせて、利用者の方々と接する事で様々な気づき生まれ、結果としてあなたの中で利用者の方に対する声掛けの選択肢が増え、適切な声掛けに近づいていけると思います。

また、利用者の方々に配慮を求める事は、非常に難しい事だと思うので、可能であるならば活動場所を分けたり、活動時間をずらしたりする等の工夫も有効かもしれません。



サービス管理責任者
【経験年数 10年目】

初めて自閉症児の保育担当に。 どのようにサポートしたらいいんだろう？

相談者

保育園 保育士
経験年数 3年目



今年から自閉症の子どもが加配になりました。自閉症の子に接するのは初めてで、どのように援助したらよいか分からず不安です。

初めてだと不安になりますよね。まずは、自閉症の子どもさんについての特性を知ることから始めましょう。そして、「何故こんなことをしたのだろう」「何が嫌だったのだろう」と考えてみたり、「〇〇がしたかったの？」など声に出したり、「〇〇が嫌だったんだね」と共感の声掛けしてあげてはどうでしょうか。

その子の事を知ることは関わり方、支援の仕方にも繋がっていくと思います。また、考えることは先生自身のスキルアップに繋がりが、考えて関わったことは子どもにも気持ちが伝わると思います。うまくいかないこともあると思いますが、考えて取り組んだことは今後の保育に繋がっていくと思います。そして、周りの保育士と相談しながら支援を考えていくと、きっと保育が楽しくなりますよ。応援しています。



障害児通所支援施設
保育士
【経験年数 18年目】

※ 掲載したお悩み等は、本会が実施した新人向け研修等の参加者からお寄せいただいたものから広報委員にて選定のうえ、一部要約及び編集して掲載しています。

※ 個人の特定を避けるため、新任職員及びメッセージをお寄せいただいた先輩職員の両者を匿名で掲載をしています。ご了承ください。

令和4年度「子どもの居場所」ニーズ・シーズのマッチング支援事業

子ども食堂や学習支援施設などの、子ども達が安心して過ごすことのできる場所を提供する「子どもの居場所」の継続的な運営を目的に、子どもの居場所運営団体が抱える課題などのニーズ(してほしいこと)と、企業・団体が持つシーズ(できること)とをマッチングしています。

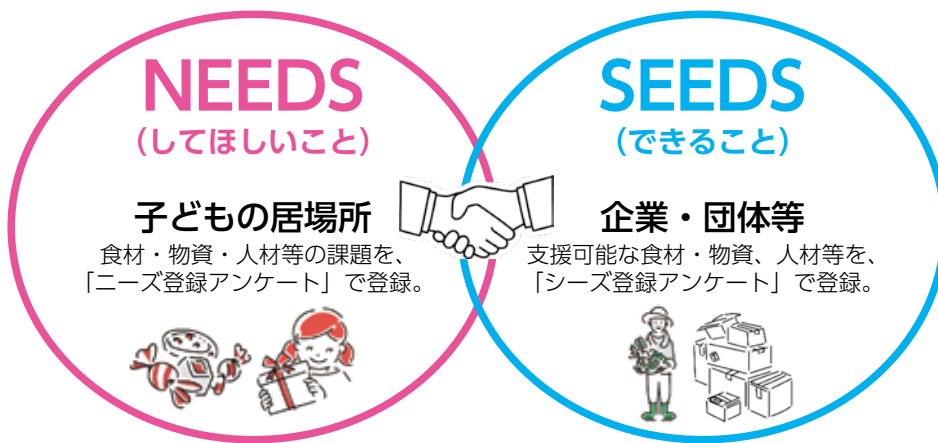
少しでも多くの、「子どもの居場所」と「企業・団体等」の縁を結ぶためにも、右のQRコードよりアンケートのご協力をお願いします。

各登録アンケートの回答は取りまとめを行い、定期的に情報共有させていただきます。

子どもの居場所
運営団体向け
「ニーズ登録アンケート」



企業・団体等
支援検討者向け
「シーズ登録アンケート」



事務局

三重県社会福祉協議会
地域福祉課

子どもの居場所支援担当

TEL 059-227-5145

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



三重県共同募金会からのお知らせ

地域課題解決型募金（テーマ型募金）へのご協力のお願い

三重県共同募金会は、期間拡大期（1月～3月）に県内で活動する団体がその地域が抱える課題を解決するため、団体の活動をアピールすることで、活動に賛同する県民の皆さまに寄付を呼びかける地域課題解決型募金（テーマ型募金）に取り組めます。

令和4年度は「NPO法人 太陽の家」、「一般社団法人 三重県里親会」の2団体が参加しますので、募金へのご協力をよろしくお願い致します。



詳しくは
三重県共同募金会
ホームページへ

NPO法人 太陽の家

申請事業（テーマ）

子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所の強化事業

～子どもの孤立解消、学習支援などによる格差解消と児童の健全育成のために～

活動内容 子ども食堂・校内カフェなどの子どもたちへの食と居場所の提供

募金目標額 120万円

活動拠点 桑名市

募金は
こちらから！



一般社団法人 三重県里親会

申請事業（テーマ）

里親は子どもの育ちの応援団

活動内容 会員の交流の場の提供
里親の養育資質の向上
里親制度の普及啓発活動の推進

募金目標額 50万円

活動拠点 津市

募金は
こちらから！



募金受付期間 令和5年1月1日（日）～ 3月31日（金）



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL：059-227-5145 FAX：059-227-6618

URL：https://www.miewel-1.com/

E-mail：info@miewel.or.jp

編集協力 株式会社アイリック